

事務事業評価表 平成25年度

政策 計画実現に向けて  
 施策 開かれた行政づくり  
 基本事業 情報公開の推進

事業名 **ホームページ運営事業**

[1022]

部名	企画政策部	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	広報広聴課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか)                      市民および江別市の情報を必要としているインターネット利用者</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段)                      ・市公式ホームページによる市政情報やイベント情報などの提供                      ・所管課からの新規掲載、修正依頼に基づき掲載情報を随時更新している</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)                      市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	インターネット利用者数 (測定不能)	人				
対象指標2						
活動指標1	情報更新回数 (年間)	件			2,204	2,200
活動指標2						
成果指標1	ホームページアクセス数 (年間)	回			4,482,425	4,408,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	124	7,350
正職員人件費 (B)		千円	0	0	12,425	16,112
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>12,549</b>	<b>23,462</b>

費用内訳	
24年度	備品購入費 124千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

### 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

高度情報化社会の進展に伴い、インターネットを利用した市政情報の提供・公開は行政の大きな役割である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

行政情報をインターネットを利用して提供することは、情報公開の推進に結びつく。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

ホームページの掲載量は増えているが、サイトの見やすさ、使いやすさ、更新されていない古い情報等が散見されるなど、利用者数が増えない要因がある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

平成25年度にホームページの更新・管理作業を簡素化する「コンテンツ管理システム」(CMS)を導入し、サイトリニューアルを行う。その際、サイト構成やデザイン、情報分類方法を全て見直し、閲覧者が見やすい、使いやすいホームページを構築する。また、CMS導入により所管課での更新が可能になるほか、公開日時をシステムで管理できるなど、情報発信の即時性・正確性が高まる。さらに、スマートフォン・携帯電話用サイトの作成や、SNSと連携した情報発信の方法を検討し、多様化する利用者ニーズに対応する。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

ホームページ全体のコンテンツの質・量は一定のレベルに到達しつつあるが、サイトリニューアル・CMS導入経費や、定期的な利用者を獲得するための新たなコンテンツの掲載など今後の課題も多く、コスト削減が可能な状況には至っていない。